

大阪大学の建築学生がつくった模型を 青山台市民ホールで展示します！

【過去の作品例】

大阪大学の建築・都市計画論領域（木多研究室）は、吹田市・豊中市と連携し、近隣センターが再びコミュニティの核となるための実践研究を行っています。その取り組みの一環として、青山台近隣センター公衆浴場跡地を敷地に学部2年生が取り組んだ建築設計課題「街角に建つコミュニティ施設」の模型作品（約40作品）を、広く住民の方々に公開します。

建築設計を学びはじめたばかりの学生たちの案は未熟でつたないものですが、「こんな居場所が街にあったらいいな」「青山台をもっと楽しく/おもしろくしたいな」という気持ちをもって、自由な発想をかたちに表現しました。ぜひ楽しくご覧いただき、建築をつくるってどんなことだろう？近隣センターはどんな場所なんだろう？どんな街に住みたいかな？と考えるきっかけにいただければ幸いです。作品への感想をお寄せいただけましたら、学生たちにとって今後建築設計やまちづくりをより深く学んでいく励みになります。

[担当教員：松原茂樹、金徳祐]

場所：青山台市民ホール

日時：2023年12月2日(土)
10:00～17:00
12月3日(日)
10:00～16:00

お問い合わせ先：大阪大学教員 金徳祐
メール：kim_dukwoo@arch.eng.osaka-u.ac.jp
TEL：06-6879-7642

